

シートの目的

- ①子どもの個性を活かして育てていくためには何が必要か、自分の考え方や行動を振り返り、「気づき」を促します。
- ②質問やチェックリスト、データなどを活用し「自分はどうか、自分なら何ができるのか」を考え、実践を促します。

- ▶ POINT1
「その人らしさ」を大切に
- ▶ POINT2
個性を尊重した進学・就職
- ▶ POINT3
対等な立場

進行方法

🕒 15分

1

今回の趣旨の説明とグループづくり・自己紹介をしましょう

【司 会】シートの目的を踏まえつつ、研修の説明をする。
【参加者】グループ(4~6人)内で、自己紹介をして交流を深める。

🕒 10分
表面

2

イラストを見て、教育における男女共同参画について考えましょう

【参加者】イラストを見てどう思うのか、何を問題と感じるのかななどを、個人(またはグループ)で考える。

例

- 性別によって叱っている内容が違う
- 本人の希望ではなく、性別にとらわれた職業選択を押しつけている

各自「あなたの考え方をチェック!」に記入しましょう

【参加者】自分の考え方や、実際の行動について振り返る。
【参加者】グループ内で意見交換をする。

ねらい 自分の考え方や実際の行動を振り返り、性別にとらわれていないかどうかを認識させる。

🕒 20分
表面

3

各ポイントごとに、自らの考え方や行動を振り返りましょう

(POINT1) 性別によって役割や期待する内容に差をつけていませんか?

【参加者】「男らしさ」「女らしさ」をイメージする「褒め言葉」を考える。

例

- 男…強い、たくましい、スポーツが得意
- 女…優しい、思いやりがある など

イメージが偏っていることを認識させる

ねらい 性別によって、子どもに期待する役割や内容に差をつけるのではなく、人としての成長を大切にすることを伝える。

🕒 20分
裏面

4

(POINT2) 進学・就職などでは、個性を尊重した選択を促していますか?

【参加者】グラフを読み、男女共に選択可能な職業で男女割合が違う原因について個人(またはグループ)で考える。

例

- 職場環境が整っていないから
- 男性(女性)の方が向いているという思い込みがあるから

ねらい 性別にとらわれず、子どもの個性(希望)を尊重した選択をさせることの大切さを伝える。

(POINT3) 相手を尊重し、対等な関係を築いていますか?

【参加者】これまでに男女間に上下関係(どちらかが優位に立つ)があらと感じたことがあるか、その内容もあわせて考える。

内容例

- 物事を一方的に決め、意見をきかない
- 命令する

まとめの例

男女間においては、子どもであっても大人であっても上下関係は存在してはいけない

ねらい 自分の考えや価値観を押し付けず、相手を尊重することの大切さを子どもたちに伝えていくことを促す。

🕒 25分

5

まとめましょう

- ◆この研修を通して気づいたこと・今後の抱負などを、各自または各グループでまとめて発表する。
- ◆時間があるようなら、グループや全体で意見交換などの交流を図る。

進行・啓発にあたっての留意点など

- ◆子どもたちは、教員や保護者、地域の人など、身近な大人の発言や行動からさまざまなことを学んで成長します。つまり自分たちは、子どもの規範となる者であるということを伝えましょう。
- ◆「まとめ」では、今後の行動や目標などについてもふれるようにしましょう。